

2016年度協力伝道週間 祈りの暦 = 2017年1月29日(日)～2月5日(日) =

日ごとの祈りに合わせて「協力伝道」の働きを覚えて祈りましょう。

■1月29日(日) 被災地支援(東日本、熊本・大分)、国内伝道

①仮設住宅、復興住宅に住む被災者の課題に寄り添っていくため、良い道が示されるように。②東北にある教会・伝道所の支援活動が、守りのうちに癒され、送り出されるように。③なお放射能の影響におびえる福島の方々が、希望の光を見出せるように。④熊本・大分地区の地震被災者の方々を覚えていけるように。支援活動をする連合、教会・伝道所の働きが守られますように。⑤全国支援・地域協働PJ(北九州・山口・大分地区)を覚えて。⑥伝道プログラム支援ほか各種支援制度を通して、教会活動が豊かに進められるように。

■1月30日(月) 国外伝道・国際協力

①野口日宇満・佳奈両宣教師(インドネシア)の働きとご家族を覚えて。②嶋田和幸・薫両宣教師(カンボジア)の働きとご家族を覚えて。③IMV佐々木和之氏の働きとご家族を覚えて。④AMC伊藤世里江氏の働きとIJCSとの協働を覚えて。⑤日本バプテスト女性連合の働きと世界バプテスト祈禱週間献金(目標額4,900万円)を覚えて。⑥BWA、APBFとの連携。BWAid、APBAidを通じた支援。CBFとの協力。

■1月31日(火) 青少年伝道、教会教育、教会音楽

①全国小羊会キャンプ・リーダー研修会、少年少女・隣人に出会う旅、全国青年大会、青年ミッショントリップ、伴走ひろばに参加者を送ろう。②聖書から聴く神さまの物語を、教会学校で共に喜んで味わおう。『聖書教育』がよく用いられるように。③教会音楽が、諸教会の教会形成・信徒訓練の働きに資するように。『新生讃美歌』が礼拝で活用され、礼拝が豊かにされるように。奏楽奉仕者育成プログラム、礼拝研修、「賛美のことば」に関する働きのために。

■2月1日(水) 宣教研究所

①基礎研究や宣教論などの「研究」、さまざまな形式の牧師・教会のための「研修」、時代を的確に読み取るための「情報発信」など、バランスのとれた働きを通して諸教会・伝道所に仕えていけるように。②宣教研究所運営委員会、宣教研究所のスタッフの働きのために。③新任牧師・主事研修会、「式文」を用いた教会形成に関する研修会の実施のために。

■2月2日(木) 伝道者養成・神学校

①献身者が多く起こされるように。②西南学院大学神学部・同大学院神学研究科、東京、九州両バプテスト神学校のために。③全国壮年会連合・奨学金委員会の働きと神学生奨学金献金(神学校献金)目標額3,000万円が満たされるように。

■2月3日(金) 理事会、監事、各委員会、事業体

①理事会、監事、特別委員会(靖国神社問題、公害問題、日韓・在日、部落問題、ホームレス支援、性差別問題、「障害」者、財務、回転資金、神学教育、資料保存、SH防止相談)、臨時委員会(平和宣言、憲法アクション、東日本大震災被災地支援、現地支援)を覚えて。②天城山荘の働きと経営を覚えて。

■2月4日(土) 協力伝道献金、教役者退職金

①「祈りと励ましの標準比率」(2013年第59回定期総会改定)を大切に、協力伝道の働きに祈りを合わせることができるよう。諸教会のスチュワードシップが豊かにされるように。②教役者退職金制度の財政が満たされ、諸教会の厚生年金移行が進められるように。

■2月5日(日) 諸教会・伝道所、連盟事務所

①諸教会・伝道所、関係団体が「祈り」で結ばれ、それぞれの働きがさらに豊かに祝されるように。②各教会の教役者の働きと健康と生活が守られますように。③無牧師の教会・伝道所を覚えて。④連盟事務所の働きを覚えて。

※祈りの暦・略称表記…【国外伝道・国際協力】IMV=国際ミッション・ボランティア、AMC=アジア・ミッションコーディネーター、IJCS=シンガポール国際日本語教会、BWA=世界バプテスト連盟、APBF=アジア太平洋バプテスト連合、CBF=Cooperative Baptist Fellowship 【各委員会】SH防止相談=セクシュアル・ハラスメント防止・相談委員会

各プログラム・行事の日程など詳細な情報については、全国発送、日本バプテスト連盟ホームページなどをご覧くださいませようお願いします。